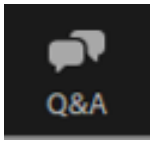
TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY
東京都立大学

2022/10/13　14:00-15:00
「双対型」人材育成（FS-SPRING）プロジェクト事務局

東京都立大学
「双対型」人材育成（FS-SPRING）プロジェクト
概要及び応募手続きについて



ご質問は「Q＆A」に随時ご記入ください。

事業概要について

0. 全体スキーム

国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

①申請　②助成金　⑤実施報告

以下、①②を一体化運用
①科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業
②次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）

TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY
東京都立大学

③生活費・研究費　④研究活動報告等

東京都立大学「双対型」人材育成（FS-SPRING）プロジェクト
（旧「産学官で活躍できるマテリアル革新を目指した次世代「双対型」人材育成フェローシップ」
旧「多視座を涵養する「双対型」人材育成プロジェクト」）

学生

個々人の研究タイトル

1．東京都立大学「双対型」人材育成（FS-SPRING）プロジェクトの目的、内容

本プロジェクトは、以下の能力を兼ね備え、異分野との対話により多視座を涵養し、広視野、コミュニケーション力、主体性を持つ博士人材を育成・輩出することで、新たなイノベーションや価値の創出に貢献することを目的とします。

「双対型」の能力

- 自身の専門分野の深い専門的知見による卓抜した一点突破能力
- 専門分野以外の関連する学術分野との連携による学際的視野

本学が採択されている、
国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の以下の助成事業
「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」
「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」
を本プロジェクト「挑戦型（SPRING）及び分野型（FS）」として一体的に運用。

2. 本プロジェクトの概要

- 一つの分野における深い専門性を備えるだけでなく、広い分野を俯瞰する力を備える「双対型」人材を志す学生を募ります。
- 選考において採用された学生に、経済的支援、キャリア支援等の支援を行います。

経済的支援（タイプ別）

【挑戦型（SPRING）】

研究専念支援金（生活費相当額）：年額240万円
（月額20万円）

研究奨励費（研究費）：年額30万円
（事業統括により0～20万円まで研究費追加支給）

【分野型（FS）】

研究専念支援金（生活費相当額）：年額186万円
（月額15万5千円）

研究奨励費（研究費）：年額30万円

メンタリング支援（共通）

様々な専門分野やバックグラウンドをもつメンターと、継続的に面談を行い、研究に関する相談や、キャリアに関する相談を実施

トランスファラブルスキルの提供（共通）

〇キャリア講義：「博士人材のアカデミック・コミュニケーション」を開講、多視座涵養講座（クリティカルシンキング等）の開講
〇博士人材キャリア講演会：様々な博士人材（企業、官公庁、URA等）による講演、懇談会を通じた多様なキャリアパスの提示
〇アントレプレナーシップ講座：年度計画に基づき本学独自予算で開講
〇分野融合のためのイベント開催：異分野交流マッチングイベント、リトリート式交流会の実施

インターンシップ機会の提供（共通）

〇企業インターンシップの活用：C-ENGINEを通じた研究インターンシップ（人文系にも拡大）
〇マッチングイベントへの参加：企業と博士人材マッチングイベントへの参加支援の実施
〇理系大学院生海外研修プログラム（海外インターンシップ体験）：これまでの訪問先は北米シリコンバレー、シンガポール等

応募手続きについて

3. 対象研究科、採用人数、採用期間

	挑戦型（SPRING）	分野型（FS）
対象研究科	全研究科 （人文科学研究科、法学政治学研究科、経営学研究科、理学研究科、都市環境科学研究科、システムデザイン研究科、人間健康科学研究科）	理学研究科 都市環境科学研究科 システムデザイン研究科 人間健康科学研究科
採用予定人数	博士後期課程 1 年次：7名程度 博士後期課程 2 年次：若干名 博士後期課程 3 年次：若干名	博士後期課程 1 年次：15名程度 博士後期課程 2 年次：若干名 博士後期課程 3 年次：若干名
採用期間	2023年4月1日から2026年3月31日までの最大3年間 （標準修業年限内での支援） 2022年10月入学（秋入学）の方については最大2年6ヵ月が支給期間。	

採用期間の例

例）博士後期課程進学後に休学をしていない学生

支援開始時の状態		支援期間（最大）
学年	在学期間	
博士後期課程 1 年次(D1)	0.0 年（2023 年 4 月入学）	3.0 年
博士後期課程 2 年次(D2)	1.0 年（2022 年 4 月入学）	2.0 年
博士後期課程 3 年次(D3)	2.0 年（2021 年 4 月入学）	1.0 年

4. 経済的支援

挑戦型（SPRING）

1. 研究専念支援金（生活費相当額）：月額20万円
（240万円/年）

2. 研究奨励費（直接研究費）：年30万円
（毎年度行う成果報告会の報告及び
研究成果報告書に基づき、0～20万円の追加配分有）

分野型（FS）

1. 研究専念支援金（生活費相当額）：月額15万5千円
（186万円/年）

2. 研究奨励費（直接研究費）：年30万円

5. 応募資格（共通）

以下の1．～4．の要件を全て満たす者。

1. 本学の博士後期課程に2023年4月に入学を希望する者、又は、応募時に本学に在籍し2023年4月時点において在学期間が36ヵ月未満の者。ただし、休学期間（休学期間の合計が6ヵ月以上の場合に限る）は、在学月数には含まない。
2. 本プロジェクトの趣旨や義務を十分に理解し、それらに同意する者
3. 一点突破能力（ある専門分野における高度な能力）並びに学際的視野を兼ね備え、異分野との対話を基に多視座の涵養を志し、及びイノベーションの創出や新しい社会的価値の創造を目指す者
4. 専門分野を超えた交流に必要な広い視野、コミュニケーション能力及び主体性の獲得に意欲を持つ者

応募資格の例外（共通）

ただし、**応募時点**において、次の5．～11．のいずれかに該当するものは対象外。

5. 独立行政法人日本学術振興会特別研究員
6. 国費外国人留学生等制度による支援を受ける留学生又は東京都都市外交人材育成基金により受け入れる留学生のいずれかに採用された学生
7. 本国からの奨学金等の支援を受ける留学生
8. 所属機関から生活費相当額として年間240万円を超える給与、役員報酬又はその他の安定的な収入を得ている者
9. 休学中の者。ただし、現在休学中であっても、2023年4月1日時点において復学することが決まっている場合は応募可能
10. 本学長期履修制度適用者。ただし、出産、育児、疾病等による適用者は除外。
11. その他本プロジェクトの対象外となる者

6. 採用後の履行義務について（共通）

本プロジェクト採用学生の履行義務は以下のとおり。

1. 東京都立大学における研究活動上の不正行為に関する規則等に定める責務を果たすこと。
2. 本学が指定する研究倫理教育を履修すること。
3. 事業統括が指定する本学大学院キャリア形成支援科目を履修すること。
4. 事業統括が指定する研究力向上・キャリアパスに関する講義・イベントに参加すること。
5. 指定の研究活動報告書を、毎年度提出すること。
6. 毎年度、事業統括が指定する成果報告会にて年次報告を行うこと。ただし分野型（FS）においては、最終年度のみ年次報告を行うこととする。
7. 毎年度、外部メンターとの面談を行うこと。
8. 最終年度を除き毎年度、次年度採用分の特別研究員DC2への申請を行うこと。
9. JSTが本プロジェクトのために実施する学生交流会等の諸行事に参加すること。
10. 文部科学省科学技術・学術政策研究所（NISTEP）の博士人材データベース（JGRAD）に登録すること。
11. 本学及びJSTが実施する各種調査に協力すること。
12. 本学及びJSTが実施する博士課程修了後の追跡調査に協力すること

令和4年度の事業統括指定の科目及びイベント一覧（例）

JSTの方針により令和5年度以降は変更になる可能性があります。

カテゴリー	科目・講義・イベント等	参加	
		旧SPRING	旧FS事業
海外留学	理系大学院生海外研修プログラム	推奨	推奨
	中長期・短期派遣学生制度	推奨	推奨
大学院 キャリア開発プログラム	大学院全学共通科目 「博士人材のアカデミック・コミュニケーション」	必須	推奨
	大学院全学共通科目 「博士人材のキャリア形成」 「企業における知的財産マネジメント」	推奨	推奨
	博士人材のキャリア講演会(複数回実施)	推奨*	推奨*
インターンシップ	博士人材の研究インターンシップ（C-ENGINE）	推奨	推奨
イベント	出前講義へのエントリー	必須	推奨
	多視座涵養講座(複数回実施)	推奨*	推奨*
	研究リトリート	推奨	推奨
	各種研究力向上WS・起業イベント・企業とのマッチングイベント	推奨	推奨
	成果報告会	必須	D3のみ必須
その他	外部メンターとの面談	必須	必須

*うち1回は参加必須。

以下の事項についても、積極的な対応を推奨。

1．論文の投稿、学会等への参加、発表。　2．海外への研究留学活動や研究インターンシップ活動。

7. 選考方法・選考基準

選考方法（共通）

以下の1. 、2. の二段階の選考を行い、合議審査により決定

1. 書類審査：選考申込書による書類審査
2. プレゼンテーション及び質疑応答審査：
   自身の研究及び今後の計画などを含み約15分で実施

※書類審査において不採用となった場合、プレゼンテーション及び質疑応答審査は行いません。

一体化運用に伴い、挑戦型（SPRING）、分野型（FS）の選考は1つの選考委員会を設け、一体的に実施する。

8. 選考基準

選考基準

（共通）

1. 学術研究を独創的に遂行することができるか。
2. 異分野融合（隣接諸分野の横断・連携を含む）を志向する姿勢があるか。
3. 学術研究の公共的な価値を熟考しているか。
4. 他者（専攻分野および異分野の学生・教員・企業人を含む）と協調して主体的に問題解決に取り組むことができるか。
5. 博士号取得後の将来像を描いているか。

（分野型（FS）のみ）

6. 2023年度が採用年度となる特別研究員（DC）の結果審査（Tスコアがわかるもの）

*2023年度採用分特別研究員申請者のみ

9. 応募手続き（共通）

応募書類（PDF ファイルに変換の上提出）

1. 選考申込書＊
2. 同意書*

＊ファイル名について：例えば選考申込書の場合は、
「学修番号（半角数字）_研究科名_応募者氏名_01選考申込書.pdf 」
（本学学生以外の者は「学修番号」は不要、2023年4月1日より所属予定の研究科名を記載）

3. 2023年度採用分特別研究員申請に係る審査結果（Tスコアが分かる書類）＊
（分野型（FS）応募者かつ2023年度採用分特別研究員に申請した者）

締　切

2022年11月7日（月）12：00（日本時間）【締切厳守】

提出方法・提出先

東京都立大学「双対型」人材育成（FS-SPRING）プロジェクト事務局

https://research-miyacology.tmu.ac.jp/news/2142/

① 上記 URL から、「応募申込フォーム」の取得手続きを行ってください。

② 登録したメールアドレス宛に届く「応募申込フォーム」に必要事項を入力・応募書類を添付しご送信ください。

①及び②の手順で送信後、それぞれ自動返信のメールが届かない場合は、事務局まで個別に ご連絡ください。

同意書について

本プロジェクトの応募前に、必ず指導教員（本学学生以外は入学後に指導を受ける予定の教員）に同意書の作成を依頼し、「選考申込書」と一緒に提出してください。

なお、本プロジェクトにおいて指導教員に以下のご協力を求めます。

1. 毎年度事業統括の指定する成果報告会に出席（分野型（FS）採用学生の成果報告会は、最終年度のみ実施）。

2. 本プロジェクトが実施する各種イベントへの参加に可能な限り参加。

3. 採用学生が研究力向上やキャリア開発・育成コンテンツ科目の受講や活動を行うことについての理解。

10. 申込後の採用スケジュール・通知日（共通）

実施期間	項目	備考
2022 年 10月11日 ～ 11月7日（正午）	応募受付	
2022年11月7日～11月30日	書類審査	
2022年12月1日、12月2日	書類審査結果、プレゼンテーション及び質疑応答審査の通知	選考申込書記載のメールアドレス宛に書類審査の採否結果を通知。 通知したプレゼンテーション及び質疑応答審査日の変更は、いかなる理由でも受け付けません。
2022年12月8日、2022年12月14日	プレゼンテーション及び質疑応答審査	新D1：12月14日 新D2・新D3：12月8日
2023年1月	採否結果通知	
2023年3月	誓約書等提出	
2023年4月	採用者ガイダンス	ガイダンスの詳細は採用学生に別途通知します。指導教員とともに必ず出席してください。

11. 応募に関する注意事項（共通）

1. 応募手続完了後はどのような事情があっても、書類の変更は認めません。

2. 事情により、応募手続等について変更することがあります。変更があった場合は、選考申込書に記載されたメールアドレス、本学の総合研究推進機構 HP（https://researchmiyacology.tmu.ac.jp/）にて通知します。

3. 応募にあたって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①選考(申請処理、選考実施)、②採用者発表、③採用手続業務、を行うために利用することがあります。また、同個人情報は、採用者のみ、① 教務関係(学籍、修学等)、②学生支援関係(就職支援等)、③本プロジェクト関係に関する業務（研究力向上、キャリア支援、教育工学的視点からのプロジェクト評価改善等）を行うために利用することがあるとともに、文部科学省、JSTに提供することがあります。

4. 応募書類における記載内容について虚偽の記載をした者は、採用後においても遡って取消すことがあります。

12. 経済的支援に関する注意事項（共通）

1. 研究専念支援金は税法上「雑所得」として扱われるため所得税、住民税の課税対象となりますので、毎年度採用学生自身による確定申告が必要となります。確定申告の方法については、国税庁のホームページを参照してください。

2. 研究専念支援金は税法上雑所得として扱われること等を扶養義務者（親等）に伝えるとともに、健康保険や扶養手当等における扶養の扱いについては、扶養義務者（親等）の職場等の担当者に問い合わせてください。また、所得税における扶養の扱いについては、近隣の税務署に問い合わせてください。

3. 本プロジェクトにおいては、採用学生と本学との間に雇用関係は生じませんので、社会保険等は採用学生自身による手続き・管理が必要となります。具体的な手続きについては、居住する市（区）役所又は町村役場に問い合わせてください。

13. お問い合わせ先

「双対型」人材育成（FS-SPRING）プロジェクト事務局
Mail　：soutsui_entry@jmj.tmu.ac.jp
電話　：042-677-2728（内線：5676・5665）

実施統括
- システムデザイン研究科・特任教授・清水敏久
- 連絡先：shimizut@tmu.ac.jp

※なるべくメールにてお問い合わせください。